

3月に東日本を襲った震災と津波は、東北地方に未曾有の被害を及ぼしました。被災された方々は想像を超える苦勞をされてきたことと思います。心からお見舞いを申し上げる次第です。この未曾有の災害はまた、エネルギー問題をはじめ日本人の生活を根本から考え直すなくてはならない大きな課題を投げかけました。これら課題を解決して「日本再生」を果たさなくてはなりません。

今年130周年を迎える本学は、工業立国日本を支えてまいりました。現在も、理学、工学をはじめとするすべての分野で、1000名以上の教職員(教授・准教授・助教)が、様々な先端研究を行っております。これら教員の英知は、「日本再生」に大きな貢献ができるものと期待しております。



東京工業大学社会人教育院は、科学技術が「日本の再生」にどのように貢献していけるかについて、シリーズ講演会「日本再生：科学と技術で未来を創造するー震災後の復興から新たな社会構築までー」を開催する運びとなりました。6回の講演では、科学技術分野は東工大から、それ以外の分野は学外から一流講師をお招きしました。聴衆の皆さんとともに、様々な面から「日本再生」を考え、「日本再生」に協力する一助となるものと期待しています。

社会人教育院院長 **鈴木正昭**

Lecture Summary

講師紹介と講演要旨

1

10/5(水) 18:30~20:30
復興構想の全体像

仙台大学教授、東日本大震災復興構想会議委員
高成田 享



講演概要

今回の大震災で、あらわになったのは、日本という国を構築する政治、行政、経済、市民社会などの枠組みの弱さだった。したがって復興構想に求められるのは、日本全体の再構築になる。そのうえで、どんな科学技術の発展が必要なのか、考えてみたい。復興構想は、東北の再建だけではなく、地震列島に住む日本全体の未来につながるものでなければならない。

1948年岡山市生まれ。東京大学経済学部卒。1971年朝日新聞社入社。主に経済記者として活動。アメリカ総局長、論説委員を経て、2008年から11年2月まで宮城県・石巻支局長。同年4月から仙台大学教授。著書「こちら石巻 さかな記者奮闘記」など。

2

10/13(木) 18:30~20:30
東日本大震災後の消費スタイルの変化とマーケット機会

野村総合研究所
取締役会長
藤沼彰久



講演概要

震災後の消費マインドはリーマンショックの時ほどには悪化していないが、「近場」「外出を避ける」傾向が強くなり、逆に「こだわり志向」が弱まっている。またソーシャルメディアの活用や「所有しない(レンタルやシェアリング)」スマートライフの動きが顕著になってきている。このような動きに対して企業のマーケティングはどうあるべきかの1つの見方を示す。

1972年 東京工業大学 工学部 制御工学科 卒業 1974年 同 大学院 制御工学科 修士課程終了 同年、野村コンピューターシステム(現・野村総合研究所)に入社 18年間にわたり野村証券のシステム構築を担当 1988年 合併により野村総合研究所となる1991年より情報技術本部にてSIの技術サポート(特にダウンサイジング関連技術)1994年 取締役 1999年 常務取締役 2001年 専務取締役 証券・金融システム事業部門担当 2002年 代表取締役社長 2010年 取締役会長

3

10/27(木) 18:30~20:30
東日本大震災の被害と今後の地震防災対策

東京工業大学 大学院総合理工学研究科
人間環境システム専攻 教授
翠川三郎



講演概要

東日本大震災では莫大な被害を生じた。この地震では、長大な断層が大きく動いたために、巨大な津波が発生し、非常に広い範囲で強い揺れが生じた。その結果、広域で甚大な被害が生じ、首都圏でも帰宅困難などの都市型災害が生じた。これらの被害と教訓を踏まえて、今後の地震防災対策の方向や関連する防災技術について解説する。

1975年東京工業大学建築学科卒業、1980年東京工業大学大学院博士課程修了。東京工業大学助手、助教授を経て、1995年より教授。専門分野は地震工学、特に強震動(強い揺れ)に関する研究。 ●受賞歴 2000年日本建築学会賞、平成19年度文部科学大臣表彰科学技術賞 ●委員会活動 中央防災会議 東北地方太平洋沖地震を教訓とした地震・津波対策に関する専門調査会委員、地震調査研究推進本部 地震調査委員会 強震動評価部会委員など

4

12/1 (木) 18:30~20:30 復興に向けた次世代エネルギーとスマートコミュニティ構想

東京工業大学
ソリューション研究機構 教授
柏木孝夫



講演概要

福島原発事故に論を發したエネルギー政策の根本的見直しの動向について述べると共に、最近注目を集めているスマートコミュニティ構想の今後の展開についても言及する。震災後のエネルギーシステムの要は分散型エネルギーネットワークの構築とスマート化である。この観点からスマートハウスの概念を紹介すると共に、革新的技術開発の動向並びにスマートコミュニティ実現に向け解決すべき課題も明確にしたい。

1946年東京生れ。1970年東京工業大学工学部卒業、1979年博士号取得。1980~1981年米国商務省NBS招聘研究員などを経て、1988年東京農工大学工学部教授に就任。1995年IPCC第2作業部会の代表執筆となる。2007年から現職。経済産業省の総合資源エネルギー調査会新エネルギー部会長(2010年3月まで)、日本エネルギー学会会長(21代)、日本学術会議連携会員などを歴任。2008年4月、文部科学大臣表彰科学技術賞(研究部門)受賞。2009年からは経済産業省の「再生可能エネルギーの全量買取に関するプロジェクトチーム委員会」委員、「低炭素社会におけるガス事業のあり方に関する研究会」委員長、「次世代エネルギー・社会システム協議会」助言有識者、など。編著書に「2050年への挑戦」、著書に「地球からの贈り物」「エネルギーシステムの法則」「マイクロパワー革命」(平成14年3月エネルギーフォーラム優秀賞受賞)、平成22年7月「スマート革命」などがある。専門分野はエネルギー・環境システム、エネルギーシステム解析、冷凍・空調調和。

5

12/8 (木) 18:30~20:30 震災後の観光復興

東京工業大学大学院情報理工学研究科情報環境学専攻 准教授
放送大学客員准教授、日本観光研究学会常務理事
十代田 朗



講演概要

東日本大震災により、各地の観光地では直接の被害を受けた地域はもちろん、そうでない地域も、風評被害や旅行自粛により国内外の観光客が減少し大きな影響が出ている。現在、復興の兆しが見えた観光地がある一方で、未だ復旧のめどさえ立たない観光地もある。現状の状況の中では、観光を語ることは後回しになりがちだが、観光の復興は地域経済にとって非常に重要な意味を持つ。そこで、大震災後の被災観光地・風評被害地の状況を踏まえた上で、これからの新しい観光スタイルに応えた観光復興のあり方、観光の復興まちづくりにおける役割についてお話しする。

専門は、観光計画、地域計画、観光地発展史。三菱総合研究所、新潟大学などを経て、現職。主な著書には、『観光の新しい潮流と地域』(編著、地域放送大学教育振興会)、『観光まちづくりのマーケティング』(編著、学芸出版社)、『Change Management in Tourism - From 'Old' to 'New' Tourism』(共著、Erich Schmidt Verlag GmbH & Co.)、『日本別荘史ノート』(共著、住まいの図書館出版局)。

6

12/14 (水) 18:30~20:30 震災復興と都市計画

東京工業大学大学院社会理工学研究科 社会工学専攻 教授
中井 検 裕



講演概要

震災からの復興において、街の将来像を考える都市計画は重要な役割を担っている。講演では、東日本大震災からの復興における都市計画の標準的な手順と、被災状況に応じた復興都市計画の一般的な考え方を紹介し、講演時点における進捗状況を報告する。また、都市計画の立案上の課題を講師の経験をお話することとした。

1958年大阪生まれ。1986年東京工業大学大学院理工学研究科博士課程満期退学。ロンドン・スクール・オブ・エコノミクス研究助手、東京大学助手、明海大学助教授、東京工業大学助教授を経て、2002年より東京工業大学大学院社会理工学研究科教授。博士(工学)。主な著書に『都市のシステムと経営』(共著、岩波書店)、『景観まちづくり』(編著、丸善)、『住まいのまちなみを創る』(監修、建築資料研究社)など。

Application Method | 講演会の申込方法

- * 〆切日は、それぞれの講演会開催日の前日までと致しますが、定員になり次第〆切りとさせていただきますので、あらかじめご了承ください。
- * お申込みいただいた情報は、個人情報に関する法律に基づき管理し、外部に流出しないよう厳重に管理いたします。

2011年9月1日(木)午後2時より
受付開始です。

1. WEBサイトからのお申込み

[URL] <http://www.kyoiku-in.titech.ac.jp/> (社会人教育院WEBサイト)

東京工業大学WEBサイト→「一般・社会人の方へ」→「社会人教育院バナー」→「社会人教育院WEBサイト」→「講演会」

※WEBサイトの手順に従ってお申込みください。



2. メール・郵送・FAXによるお申込み

下記の参加申込書をお使いください。

[メール宛先] info@kyoiku-in.titech.ac.jp

[FAX宛先] 03-3454-8762

[郵送宛先] 〒108-0023 港区芝浦3-3-6 キャンパス・イノベーションセンター809号室 東工大 社会人教育院(宛)



参加申込書				
申込区分(該当するものに○をつけてください) 一般・東工大学部・大学院生・蔵前工業会員				
氏名(ふりがな)		年齢	性別	歳 男 女
メールアドレス	@			
現住所・電話番号	〒	-	電話	-
職業	〈該当するものに○をつけてください〉 1.会社員 2.公務員 3.教員 4.自営業・自由業 5.学生(高校・大学・大学院・その他) 6.主婦 7.無職 8.その他			
参加希望日に○を記入 *申込締切日は開催日前日(必着)				
〈1〉10月 5日		〈3〉10月27日		〈5〉12月 8日
〈2〉10月13日		〈4〉12月 1日		〈6〉12月14日
東工大学部・大学院生又は蔵前工業会員の方は以下も記入				
東工大学部・大学院生				
学籍番号	所属(学部/専攻・研究室名)			
蔵前工業会員				
卒業・修了年度	在籍していた学部・学科等			

講演会参加のご案内

講演会当日

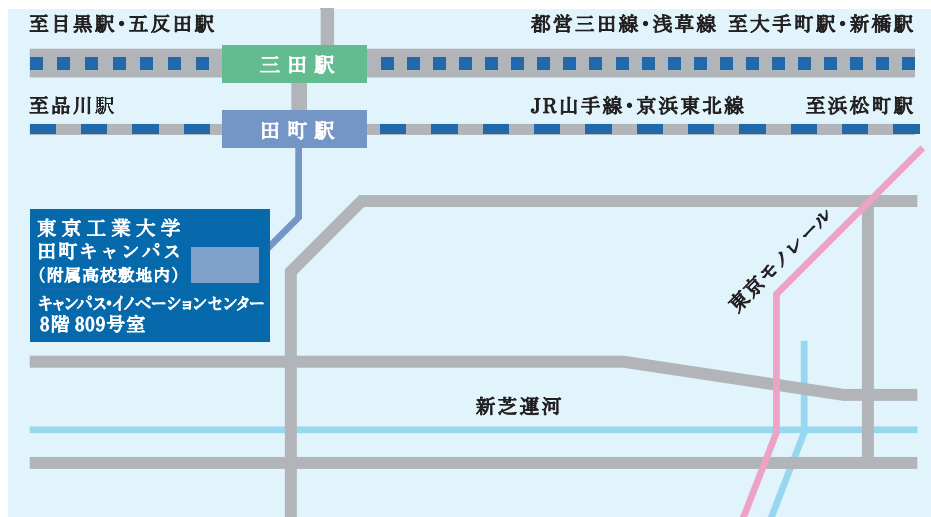
- ・開場は18時00分(講演会開始30分前)を予定しております。
- ・講演が始まる時刻の直前は受付が大変、混み合いますので、お早めにお越しください。
- ・講演会の時間は予定時間より多少延長・短縮されることがありますので、あらかじめご了承ください。

講演会の中止・延期等

本院の責任に帰することが出来ない事由(地震・新型インフルエンザの流行など)により、万が一講演会の中止・延期等がある場合は、ホームページに掲載致します。また、東京工業大学社会人教育院公式ツイッター <http://twitter.com/#!/titcaps2011>にも掲載予定ですので、いずれかにてご確認ください。

Information

お問い合わせ先



会場までの経路

- JR山手線・京浜東北線 田町駅下車・・・徒歩1分
- 都営三田線・浅草線 三田駅下車・・・徒歩5分

お問い合わせ先

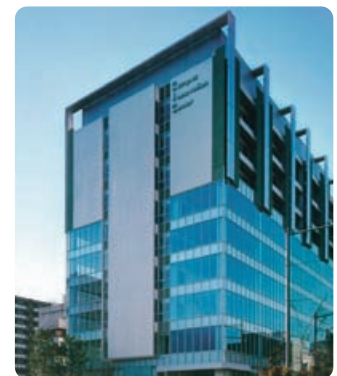
〒108-0023 東京都港区芝浦3-3-6 キャンパス・イノベーションセンター809号室

東京工業大学 社会人教育院

[電話] 03-3454-8867 [FAX] 03-3454-8762

お問い合わせ時間/月曜～金曜 10:30～17:15 ※昼休み12:15～13:15を除く

[メール] info@kyoiku-in.titech.ac.jp [WEBサイト] www.kyoiku-in.titech.ac.jp



東京工業大学 社会人教育院

